

黒部川 上ノ廊下

2018年8月11日～15日

L 廣瀬、K、久保田 J(記)

憧れの上ノ廊下へ行けるチャンスがやって来た！以前に話をしていたリーダーが今年は水量が少ないと思うから行けるよと声を掛けてくれたのだ。

心配していた台風もそれて、近日中はまとまった雨も降っていない。行ける！

8月11日 雨のち晴れ

扇沢で7時のトリーバスで黒部ダムへ出ると雨が降り始め、歩を進めると次第に大粒になる。中止の二文字が頭をよぎったが平ノ渡しに着く頃にはあがっていた。それにしても4泊5日分の荷が重く、地味なアップダウンで体力を消耗する。



《船で黒部湖対岸へ渡る平ノ渡し船》
船で対岸へ渡るとリーダーが下へ降りよう、そのほうが楽だと登山道を少し歩いた所からバックウォーターへ降りた。



《黒部湖バックウォーター：熊の足跡を見る》
粘土質の土を歩き河原に出た所で沢靴に履き替えた。黒部川に入ると私は一人では立ってられない程流れが強く、スクラム渡渉を数回して奥黒部ヒュッテに着いた。

ヒュッテで計画書を提出した時、3日間晴れが続かないと水量は安定しないから気を付けてと言われた。

本流へ戻り、釣りをしながら進んで熊ノ沢出会いの右岸にタープを張った。対岸には先行パーティが幕営していた。

ジフーズの食事を済ませ就寝。

〈タイム〉扇沢7:00 平ノ渡し船11:45
奥黒部ヒュッテ15:30 熊の沢出会い17:30

8月12日 曇り時々晴れ 朝晩雨
朝方3時頃に雨の音で目が覚めるが出発する頃には止む。河原歩きと渡渉を繰り返す1時間ほどで下ノ黒ヒンガが見えてくる。



下ノ黒ヒンガ

口元ノタル沢ゴルジュへと入っていく。入り口では左岸へ渡りへつりながら、最後は泳ぐ。私が泳ぎ出すとザックにヘルメットが押され首を吊りそうなり足はつかないので慌てて戻る。ザックを先にザイルで引上げてもらいライフジャケットだけで泳いだ。



出口は飛び石渡渉で抜けた。巨岩がゴロゴロした所を抜けると広河原になる。しばらく河原歩きと渡渉を繰り返すと上ノ黒ヒンガ。



黒い岩壁をクライマーが登っていた。



リーダーは長身のためそのまま歩いてしまったが私たちはザックをビート版にして泳いだ。ゴルジュを抜けると左岸に雪渓が残る金作谷出合い。右岸を進み行き詰まった所で巨岩の上から強い流れをジャンプした。私がジャンプを失敗をして助けようとしたリーダー共に数メートル流されたが岩で止まる。焦った。気を取り直し今度は助走をつけてジャンプ成功。抜けると左岸は台地になっていて先行パーティがすでにタープ張っていた。今日は自分たちを含め5パーティが入渓しているようだ。

核心が終わったように思えリーダーもザイルをしまうがまたすぐにスラブのゴルジュが現れ泳ぎに連続3回ザイルを使うことになった。赤牛沢出合いで釣り竿を出したが釣れず、最後の泳ぎに入りトップはK。小学校のプールくらいですよねと言って飛び込んでいったが30M以上はありそうで途中流れもあったが泳ぎ切った。自称泳げるデブである。

立石に着くと台地に2パーティがタープを張っており、私たちは一段下にタープを張った。直前まで泳いでいたので寒い。焚火

をつけると雨が降り出してこの日は濡れたままシュラフに潜り込んだ。

〈タイム〉

7:00 熊ノ沢出合い 8:00 下ノ黒ビヅカ

12:00 上ノ黒ビヅカ 13:00 金作谷出合い

17:15 立石

8月13日 曇り時々雨

昨夜の雨は上がっていたがどんよりして今にも降りそうだ。出発してすぐに表れたゴルジュは右岸をへつりと岩の上を行き飛び石で激流を対岸のバントまでジャンプした。出口の左岸にスタレ滝。





《立石奇岩》

立石奇岩まで来ると水量も減り、繰り返す渡渉も楽になる。

やはり降り出した雨。この先 EDCBA と 5 つの枝沢が入ってくる。途中本流が濁り出したが梯子が見え大東新道と並行するころには回復してきた。赤い橋をカッパを着た登山者が渡っているのが見えた薬師沢小屋だ。



私たちは小屋に寄ること無く奥の廊下をと進む。この先一か所コルジュがあるが左岸を高巻いた。踏み跡がしっかりある。



《高巻中に滝を見下ろす》

疲れもピークになったころ私の靴がほつれかかかになったので釣り糸で補修した。



赤木沢出会を過ぎ、癒し系森の沢へ入った左岸へタープを張る。

〈タイム〉

7 : 00 立石 8 : 34 立石奇岩 13 : 30 薬師沢小屋 17 : 15 幕営地

8月14日 晴れ時々雨

今日はハネを外し、ハードな渡渉や飛込、泳ぎから解放され癒し系森の沢から源流をつめていく。3時起床でまだ暗く寒いので焚火で暖まる。

歩き始めると朝日に水面が輝き綺麗。



源流に行くにつれ傾斜がきつくなり、雲の平へ向かう登山道と交差して少し行った所から岩苔乗越へ上がる登山道へ出た。休憩中に濡れたギアを乾かし少しでも軽くする。裏銀座縦走路で高瀬ダムへ降り降りる。疲れ果ててた足はペースがあがらず。今日中に下山か烏帽子小屋のテ場を目指したがガスが出てきて雨と雷が鳴り出し野口五郎小屋でタイムアウト。

テ場が無いので小屋に素泊まりした。

〈タイム〉

5 : 00 幕営地 10 : 30 登山道 13 : 30 水晶小屋 17 : 00 野口五郎小屋 (泊)

8月15日 晴れ

屋根の下で布団で寝たのに疲れは取れていない。4日間毎日何処かで雨が降っていたがここに来て気持ちのいい晴天。ブナ立尾根をへろへろになりながら下った。



〈タイム〉

5 : 20 野口五郎小屋 8 : 15 烏帽子小屋
10 : 41 高瀬ダム登山口

最後に水を含んだ重いザイルを背負って、地形と水の流れを読んでラインを取っていく。リーダーの体力と力量があってこそ沢泊初めての私でも遡行することが出来た事に感謝。あと気田川の練習も活かせて、充実した夏休みになった。

★総距離 57 キロ(アプローチ含む)